

Journal for Peace and Nuclear Disarmament 創刊号へのメッセージ

河野茂・長崎大学学長

このたび、長崎大学では、英文の国際学術ジャーナル“Journal for Peace and Nuclear Disarmament”を創刊する運びとなりました。本学の核兵器廃絶研究センター（RECNA）が編集を担当し、年間2回発行の予定です。

本ジャーナルの略称は、「J-PAND」です。出版は、学術ジャーナル刊行では世界的な権威を有する英国のテイラー&フランシス社（Taylor & Francis）です。同社刊行の核軍縮・不拡散分野のジャーナルとしてはアジア初のものであります。

掲載論文等はすべて、テイラー&フランシス社のウェブサイトにてオープンアクセスで提供されます。すなわち、どなたにも無料で読んでいただければ、PDFでダウンロードすることも可能です。核廃絶という大きな目標に向けて、取り組むべき課題は山積しています。

そのひとつひとつをより多くの方々に考えていただくために、知的貢献をしていきたいとの思いをこめて、オープンアクセス方式を採用しました。本日をもって本ジャーナルのウェブサイトがスタートし、論文掲載も始まりました。論文投稿の募集も同時に始めました。

長崎原爆の惨禍に見舞われた経験を持つ本学からこのような学術的国際発信ができることは、大変喜ばしいことです。核兵器禁止条約が採択され、核兵器をめぐる国際情勢が大きく動く中、世界の多くの研究者、とくに、日本を含めたアジア太平洋地域や若手の研究者にこうした発表の機会を提供することで、本ジャーナルは核兵器廃絶に向けた新たな力になりうるものと考えております。

読者の皆様にジャーナルの成果を活用していただくとともに、研究者からの積極的な論文投稿をお待ちしております。

2017年12月6日